

中伊豆町

地形概況

北部は巢雲山から南にのびる宇佐美火山地、南部は天城火山地がしめ、カワゴ平からの溶岩流や泥流堆積物は台地となる。丸野高原や天城高原の緩斜面がひろがる。冷川・大見川にそう谷底低地が発達し段丘・小扇状地・山麓緩斜面も広い。

地質概況

天城火山の安山岩質溶岩、遠笠山の玄武岩質溶岩、天子山地の輝石安山岩類など多様である。カワゴ平の活動により、軽石流が噴出し、流紋岩質溶岩が流出した。筏場周辺には軽石質砂礫の堆積物がある。大見川ぞいには白浜層群が分布する。

気象概況

年平均気温は推定 15.0℃、年平均降水量が推定 3,000mm で県平均降水量より約 30%も多く、県内でも典型的な山岳多雨域である。気温は天城山の影響もあり、沿岸域より多少低い。年間日照時間数は 2,028 時間(網代)とやや少なく 1 年のうち日の当たる日が 46%となっている。

災害事例 地震

- 1978 年 1 月 14 日 (昭和 53 年) 伊豆大島近海地震 M=7.0
被害は比較的軽微で住家一部破損 21 戸、道路 13 箇所、河川 5 箇所などであった。
- 1930 年 11 月 26 日 (昭和 5 年) 北伊豆地震 M=7.3
伊豆北部に被害を及ぼした大地震で中大見村城の山上の畑約 1 丁歩余り、約 10 間陥没し、隣の谷合に長さ約 30 間、高さ 2~3 間の隆起を生じた。姫之湯付近を通り西北西-東北東に走る姫之湯断層 (延長約 3km)を生じた。被害は下大見村で死者 3 人、負傷者 13 人、住家全潰 117 戸、半潰 110 戸、荒廃林地 23 町歩、中大見村で死者 7 人、負傷者 12 人、全潰 33 戸、半潰 181 戸、荒廃林地 32 町歩、上大見村で死者 1 人、負傷者 6 人、全潰 45 戸、半潰 129 戸荒廃林地 66 町歩に達した。又中大見村で 2 戸が全焼した。

災害事例 台風

- 1958 年 9 月 26 日 (昭和 33 年) 狩野川(22 号)台風
伊豆地方で被害が大きく、死者行方不明は 1,000 人を越えた。中伊豆町筏場では山崩れ・山津波が起こり、大見・狩野の村落を押潰し、土砂や流木を河に吐き出した。水田や家屋の流出した址は完全な石ころだけの河原となってしまった。このため死者 67 人、行方不明 16 人、全壊 84 戸、半壊 78 戸、流失 110 戸、床上浸水 180 戸、床下浸水 240 戸、田畑流埋 209ha の被害を生じた。